



陶特別号

かほく市立七塚小学校
校長 宗廣 進一

令和3年度前期学校評価結果のお知らせ

今回の特別号では、1学期末に実施した児童・保護者・教職員のアンケート結果をもとに、本校が特に力を入れてきた4つの項目に注目して、1学期の成果と課題、2学期に向けての取組をお伝えします。

今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

(数字は%)

対象者	評価項目	よくあてはまる だいたいあてはまる あまりあてはまらない あてはまらない					
		よくあてはまる	だいたいあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない		
指導力向上・学力向上	児童	授業では、課題を解決するために考えることは楽しい		63	33	3	1
	教職員	「考える楽しさ」を児童が実感できるようにしている		28	72		
	児童	国語・算数の学期末テストの平均点		全国の平均点と比較して（全校児童平均） 国語（+1点） 算数（+3点）			
	教職員	あっぷUPタイムでは、児童の基礎学力の向上に結びつくような指導をしている		33	67		
<p><□1学期の取組の成果と課題 ◎今後に向けて></p> <p>□児童は、「課題を解決するために考えることは楽しい」という意識は高い一方で、否定的な回答をした児童が4%います。</p> <p>□教職員は、概ね「考え続けたいくなる授業づくり」や「学力向上」を意識して取り組んでいます。学力向上の成果は、まだ十分ではありません。</p> <p>◎今後は、さらに授業力を高めるとともに、教師や児童同士で褒められたり認められたりする経験を多くとることで、「学び合いが楽しい」「考えることが楽しい」と感じる授業づくりに努めていきます。また、授業中の個々の見取りをしっかり行い、適宜支援するとともに、ステップアップ教室（補充学習）の機会を増やすなど、児童の学力が着実に向上するように取り組んでいきます。</p>							

対象者	評価項目	よくあてはまる だいたいあてはまる あまりあてはまらない あてはまらない					
		よくあてはまる	だいたいあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない		
自己肯定感の醸成	児童	学校に行くのは楽しい		63	28	8	1
	保護者	子どもは学校へ行くのが楽しいと言っている		49	43	6	2
	児童	自分には良いところがあると思う		53	33	11	3
	児童	将来の夢や目標を持っている		74	14	6	6
<p><□1学期の取組の成果と課題 ◎今後に向けて></p> <p>□児童、保護者の多くが、「学校に行くのは楽しい」と肯定的にとらえています。毎月1回昼帯タイムに行っているエンカウンター（心を開放する活動）が人間関係づくりに役立っているといえます。一方で、否定的な回答をした児童が9%いるので、対応していく必要があります。</p> <p>□児童は、概ね「自分には良いところがあると思う」と答えており、各学級で担任が児童相互の関係作りに努めた成果といえます。一方で、否定的な回答をした児童14%について、さらに自己肯定感を高めるよう取り組んでいきます。</p> <p>□児童の多くは、将来の夢や目標をしっかり持っており、概ね肯定的に回答しています。一方で、否定的な回答12%みられます。</p> <p>◎学校の教育全体を通じてキャリア教育を更に充実させていきます。また、情報交換タイムだけでなく、日常からも、児童のよさを報告し合い、全職員で児童に励ましや称賛の声をかけていきます。一人ひとりの良さを認め生かし伸ばすことができるよう指導に努めていきます。</p>							

いじめ対応	児童	いじめはどんな理由があってもいけないと思う	96	3	
	保護者	学校は、いじめの未然防止や早期発見のための取組を伝えている	17	77	6
	教職員	いじめに関する取組や指導を行っている	39	50	11
<p><□1学期の取組の成果と課題 ◎今後に向けて> (保護者アンケート自由記述欄より～)</p> <p>・いじわるをする子の行動に関しては把握いただけますよう、よろしくお願いいたします。</p> <p>□学校ではいじめの実態把握のために、アンケートの機会と合わせ、指導を繰り返し行ったことで、児童のいじめは許されないものであるという意識が高まっています。また、生徒指導だよりやHPを通して、いじめの未然防止・早期発見につながる取組を伝えています。ただし、友達への攻撃的な言動が発生することがまだあるのが現状で、その都度、指導を重ねています。保護者アンケートにおいては否定的な回答が6%あるので、引き続き各学級で人間関係づくりを行ったりして、今後ともいじめ防止に関する取組を知らせていく必要があります。</p> <p>◎人権週間や教育ウィークを活用し、いじめの未然防止・早期発見や温かい関わりについての指導を繰り返し行い、相手を思いやる気持ちや態度の醸成を図っていきます。また、児童会と連携し、温かい言葉遣いの意識が高まるよう、児童主体の取組も行っていきます。</p>					

健康安全な生活習慣の定着	児童	毎日朝ご飯を食べている	90	5	3	2
	保護者	子どもは朝食を毎日食べている。	85	12	2	
	保護者	子どもに、バランスの良い朝食を毎日準備している	16	63	20	1
	児童	毎日、食後に歯みがきをしている	65	30	4	
	児童	1日のメール・ネット（ライン・ゲームなど）の平均時間	49	24	15	12
<p>(保護者アンケート自由記述欄より～)</p> <p>・学校でもパソコンを使う時代となり、親よりも使うことに長けています。自宅でも子供とはメディアルールに関して話し合う時間を作ることが大事だと最近よく思っています。あるものをやっではいけないとも言えませんし、使うことでのメリット、デメリットをこれからも子供と話し合って正しく使えるようにしたいです。</p> <p><□1学期の取組の成果と課題 ◎今後に向けて></p> <p>□朝食については、大多数(95%)の児童が習慣化されています。保護者の高い意識に加え、健康チェック表で毎日食べたかをチェックしたり、保健だよりに熱中症予防と関連させて朝食の栄養バランスの重要性について啓発したりしたこと等も成果につながっています。</p> <p>□児童の歯みがき習慣は改善してきています。ただ、一部の児童についてはまだ定着していません。養護教諭による歯科保健指導や各家庭で実施した「染め出しによる歯みがきしらべ」等が効果を上げていると思われます。</p> <p>□平日2時間以上メディアに触れている児童が27%もおり、学校や家庭での学習に悪い影響を与えています。学校と家庭とが連携しながら、対策を講じていきます。</p> <p>◎9月の健康チェック表に、朝食の栄養バランスをチェックする項目や歯みがきやの項目を入れ、生活習慣改善に向けた取組を行っていきます。また、保健だよりを配付し、朝食の栄養バランスの大切さを伝えていきます。</p> <p>◎1月のすくすく集会では、メディアのトラブルや問題、そしてメディアとの付き合い方について取り上げ、親子でメディアルールについて話し合わせる機会を作っていく必要があります。</p>						

～自由記述欄より（一部）～

貴重なご意見，ありがとうございました。今後の学校運営の参考にさせていただきます。

☆安全について

・火災，地震，津波，豪雨雪，不審者などの非常時，それぞれの避難行動のしかた，どんなマニュアルになっているのかなど，学校と保護者達で共有して，よりしっかりした安全対策ができれば安心だなと思います。

・津波注意報が出たら校舎の3階に逃げると言っていたのですがありますか。3階に逃げてしまったら逃げ場を失ってしまうので高台へ逃げるほうがいいのかと素人ながら思っています。

→火災や地震等発生時の避難行動について，学校では危機管理マニュアルを作成しております。保護者の皆様と共有することで，より安全に危険から身を守ることができるかと思います。共有の仕方について考えて参りたいと思います。津波につきましては，規模や発生から到達する時間等の情報を考慮して，校舎3階または木津公園への避難を設定しております。今後も津波からの安全な避難の仕方について検討を重ねていきたいと思います。

・台風や悪天候時などの連絡について気象庁が予報を出しているにも関わらず遅いように感じるので，もう少し早めの判断をお願いしたいです。

→これまでの経験値を生かし，早目の判断，連絡等の対応を行っていきます。

・遠塚の通学路でスピードの速い車を結構見かけます。ニュースでも児童の列に突っ込む事故があり，より気になるようになりました。何か良い対策などありませんでしょうか。

→かほく市教育委員会や津幡警察署と連絡を図り，子どもたちが安全安心に通学できるように努めていきたいと思っておりますので，危険な運転についての具体的な情報をお寄せ下さい。子ども達には引き続き，学校では，交通ルールを守り，安全に道路を歩くよう指導して参りたいと思います。

・ななきら農園の背の高い雑草をなるべく除去してほしいです。屈んだ時など目に草の先がささる等危ないかと思っております。

→今後は，ななきら農園や他の場所の伸びている雑草を定期的に刈り取っていきます。また，安全点検を行い，校地内の危険な箇所については，適宜修繕していきたいと思っております。

・プールの時間について，学校毎の意向で行っているが，コロナ対策であれば市内全学校が統一的な対応を取るべきだと思う。（具体的な感染対策もしていないみたいなので，クラスターの危険性が無いかな不安）

→かほく市教育委員会の指示のもと，学校毎に更衣室の状況等を判断して水泳学習を行いました。密を避けるために，体育館更衣室や体育館2階，学習室に分かれての更衣，マスク着用での移動，ソーシャルディスタンス等，できる限りの感染症対策を行いました。今後も状況を鑑みながら感染症対策に努めて参ります。

★宿題について

- ・宿題が少ないと思います。低学年の時より少なくなった気がします。自学などを自主的にやるのが容易でないようで心配しています。
- ・宿題に自学が出るが必要なのか。必要な理由は何でしょうか。
- ・夏休みの宿題についても、同じ学年でも学校毎で違いがある。低学年に自由研究は無理があり、もはや親の宿題になっている。

→自学は「家庭学習の習慣化」や「主体的に学ぶ力の育成」を目指して全体的に取り組まれ、本校でも取り組んでいます。自学メニューの例示をするなど、子どもたち自らが取り組めるように工夫していきたいと思います。自由研究については、長い休みだからこそ、興味関心のあることをじっくり追究する学習に取り組んでほしいという思いがあります。自由研究の進め方等について指導していきたいと思います。できる範囲で構いませんのでご協力をよろしくお願いします。

★その他

- ・学校で過ごす子供の様子を写真や動画で見られると嬉しく思います（コロナ禍で授業参観などのイベントができないため。）
 - ・タブレット学習に使用しているノートパソコンの使用上の注意など親に向けての説明が欲しいです。
 - ・お知らせが遅いと思います。アンケートですが、わからないという解答欄を作ってほしいです。
 - ・先生方の迅速で細やかでそしてご丁寧なご対応に日々感謝しております。ありがとうございます。
 - ・入学時不安も多かったのですが、思ったより早く学校に馴染めるようになったのは、先生方のご協力のおかげです。担任の先生や同じ学年の子達以外の方々にも気にかけてもらい声をかけてもらえる環境に本当に感謝しています。ありがとうございます。
 - ・いつも何かあれば、すぐ対応していただきありがとうございます。息子が怪我をした時に色んな学年の先生方に声をかけてもらい本人も元気が出て気持ちが明るくなりました。気にかけてもらった事、本人の意思などを聞いてすぐに対応して下さり本当にありがとうございました。
- ご支援ご協力に感謝致します。いただいたお言葉を励みにしてがんばっていきます。また、出していただいたご意見を参考に改善できる点は改善していきたいと思います。